

戸吹クリーン通信



戸吹クリーンセンター
マスコットキャラクタープリン

1

宮城県大崎市の災害ゴミを受け入れ

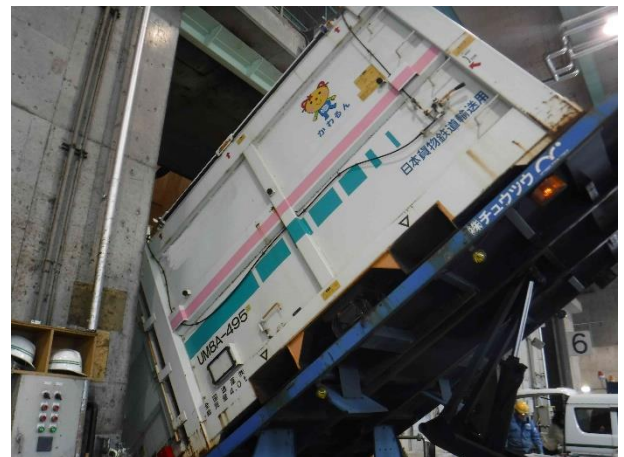
当市では、令和元年 10 月の台風第 19 号により大変な被害を受けた宮城県大崎市の災害ごみを、年始の茨城県鹿沼市に続いて受け入れることとしました。災害ごみは貨物列車で運ばれ、2 か月にわたり戸吹クリーンセンターに持ち込まれました。

地域の方々におかれましては、今回の受け入れに際してご理解を頂き誠にありがとうございました。

また災害で被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。

宮城県大崎市の災害ごみの搬入量

	R2. 3 月	R2. 4 月	合計
搬入量 (t)	81. 27	102. 88	184. 15



搬入される災害ごみのコンテナ

2

新型コロナ対策を実施。2 班体制で 1 日交代で運営

市民の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの脅威にさらされる中、ステイホームを守られ、何かと不自由な生活に耐えられていることと存じます。一日も早いコロナ禍の終息と、元気な街に戻ることを心よりお祈り申し上げます。

さて、当センターでは4月中旬より、新型コロナウイルス対策として市職員及び委託職員を2班体制に分け、在宅勤務を併用して業務にあたることとしました。このような状況の中、5月の連休には大変多くのごみが搬入されましたが、周辺道路等、地域の皆様には大きな影響なく受け入れることができました。

この未曾有の事態の中、今まで経験したことのない状況が続くところですが、現時点では感染者数の減少傾向なども見られ、一部自治体では経済活動も再開されました。明るい兆しも見られますので、この危機を皆様とともに乗り切っていきましょう。



計量受付棟における飛沫防止膜等の対策

3

新型コロナウイルス療養施設からの廃棄物を受け入れ

当市では、市内宿泊施設にて新型コロナウイルスに罹患した軽症者の受け入れを5月1日より開始し、これに伴う廃棄物を5月4日より受け入れしています。当センターでは宿泊施設で排出される廃棄物について、新型コロナウイルスの飛散を防ぐため、3重の袋で梱包し、さらにフレコンバックを用いて、一般ごみの受け入れ時間終了後に搬入しています。持ち込まれた廃棄物のごみピットに投入後、即焼却する措置を取り、また車両退去後に場所を消毒するなど、これによる感染危険性の予防に細心の注意を払い、安全確保に努めています。

地域の皆様にはご心配をおかけしますが、引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

